



2004年6月9日

報道資料》

KDDI株式会社  
株式会社メディアシーク

## au携帯電話の「2次元コードリーダー」と 「EZナビウォーム」の連携を実現

~ 2次元コードを読み取るだけで目的地設定が簡単に ~

KDDIは、au携帯電話で提供する2次元コード読み取りアプリケーション「2次元コードリーダー」と、歩行者向けナビゲーションサービス「EZナビウォーム」が連携できるように機能拡張を行います。

これにより、雑誌や名刺等に印刷されている2次元コードを読み取り、表示された住所や規定文字列を認識することによって、住所や位置情報など面倒な文字入力を行うことなく地図表示やルート案内などの各種ナビゲーションサービスを簡単に利用することが可能となります。

また、情報提供者は住所を2次元コード化することで、簡単に指定の位置へ誘導することが可能となり、紙媒体等の外部メディアと携帯電話の連携がより一層強化されます。

今後、KDDIでは本機能を利用した「EZナビウォーム」の様々な利用シーンの提案を行ってまいります。

上記の連携機能は、6月上旬発売予定のA5506T(製造 株式会社東芝)より搭載し、今後発売される機種で接写機能と「EZナビウォーム」が搭載されている機種には順次搭載する予定です。

今回の機能拡張は株式会社メディアシーク(本社: 東京都港区、代表取締役: 西尾直紀)がKDDIと共同で開発する「2次元コードリーダー」と、KDDIが提供する「EZナビウォーム」(開発元: 株式会社ナビタイムジャパン 本社: 東京都千代田区、代表取締役: 大西啓介)双方のアプリケーション機能拡張により実現しました。

なお、本機能にも対応した携帯電話で読み可能な2次元コードは、auのホームページ\*より無料でダウンロードできる2次元コード作成ツール「2次元コードメーカー」で、簡単に作成することができます。

\* 「EZwebホームページを作ろう」  
<http://www.au.kddi.com/ezfactory/>

以上

### 〈参考〉

## 「次元コードリーダー」と「EZナビウォーク」の連携イメージ



## 「2次元コードメーカー」画面イメージ

2次元コードメーカーメイン画面



EZナビウォーク連携2次元コード作成画面

